

! 下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。
使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

! 注意

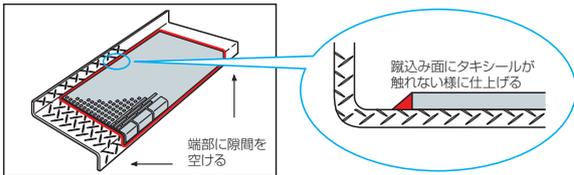
- **施工下地には、必ず十分な防錆処理(ケレン・錆止め・上塗り)を施してください。**
- 下地の塗装をカッターナイフ等で傷を付けないようにしてください。
- 廊下・踊り場用シートと継目処理する場合は、段差が出来ないように仕上げてください。
- **前垂れ部のタキシル幅が5mm未満または5mm以上でも適正量打設できていないと前垂れ部の強度が不足し、浮きが発生する恐れがありますので注意してください。**
- 端部処理は全周行うことを標準工法としております。 ● 端部処理を施しても、裏面に水が浸入することがあります。
- 蹴込み部分用シートの施工についてはお問合せください。

1. 下地・使用環境の確認

- 下地の清掃を行い、砂・塵埃などを除去してください。
- 下地の表面が平滑で十分な強度があること、塗料や油分などの汚れが残っていないことを確認してください。
- 下地に湿気がある場合は十分に乾燥するまで養生してください。(必要に応じて下地の水分率を確認してください。)
- **施工開始から養生終了までの間に5℃以下(気温・下地)になる場合や、急激な温度変化や水濡れがある場合は施工できません。**

2. 裁断とけがき

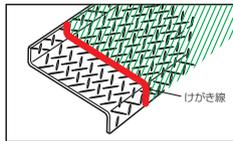
- スケール、直定規で階段の幅、奥行の寸法を測定し、タキシル#600の仕上げ代として7mm以上の隙間が空くように裁断してください。
- **※タキシル#600がササラ面や蹴込み面にかからないように、端部に隙間を空けてください。**



- 仕上げ寸法に裁断後、タキステップを施工する位置に仮敷きし、下地に鉛筆などで仕上げ寸法をけがいてください。

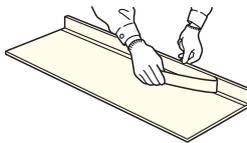
3. 下地用プライマー液(タキボンド#625)の塗布

- **※タキステップ3Sを施工する場合は、プライマータキボンド#625(別売)を購入してください。**
- 図のように下地斜線部に、タキボンド#625(別売)をハケで均一に塗布して20~30分間乾燥させます。タキボンド#625塗布面は汚さないように注意し、1日以上乾燥させないでください。



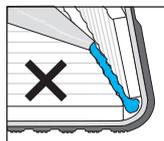
4. 前垂れ部両面テープの剥離紙の剥がし

タキステップ前垂れ部裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙をゆっくりと剥がしてください。**早く剥がすと接着剤も剥がれることがあります。**



5. 段鼻充填用接着剤(タキボンド#650)の塗布

- タキステップ裏面の折曲げ部(段鼻部裏面)にタキボンド#650をコーキングガンで約1.0mm径の太さで均一に塗布してください。
- **タキボンド#650を塗布しなかったり、塗布量が不十分な場合、段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがありますので、注意してください。**
- **下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、別売品を追加購入してください。**



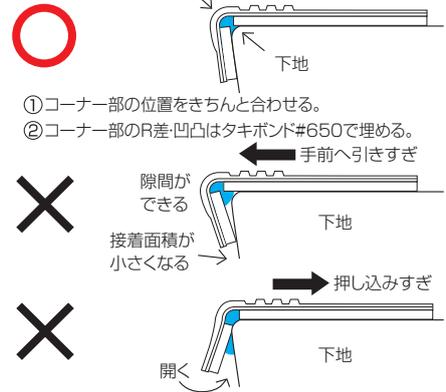
※テープの上にかかるくらい太く充填してください。

6. タキステップの貼り付け

- タキステップ裏面と両面テープの間に空気が入っていることがありますので、貼り付け前に千枚通しで両面テープに穴を開けて空気抜きを行ってください。
- 図のようにタキステップの折曲げ部を階段の曲がり部(段鼻部)に当てがい、下地とタキステップの折曲げ部との間に空洞が生じないように注意して貼り付けてください。**その際、段鼻部が折り曲がらないように、また段鼻部を奥に押し込みすぎないように注意して張り付けてください。**
- 前垂れ部が固定されたら、踏み面裏面の両面テープの剥離紙を剥がし、手前から空気が入らないように貼り付けてください。
- **5℃以下(気温・下地)では施工できません。(両面テープの初期接着力が低下するため)**
- **一度貼った製品は貼り直さないでください。(粘着強度が低下します)**

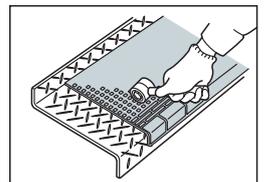


施工のポイント(位置決め)



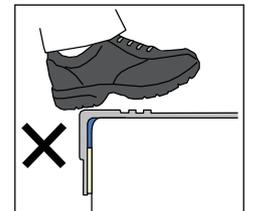
7. 圧着

- タキステップ全面をハンドローラーで十分に圧着してください。タキボンド#650を塗布した折曲げ部は圧着しないでください。(圧着すると、タキボンド#650が流動し空洞が生じます。)



8. 養生(1~2日)

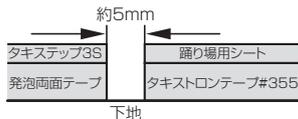
- 接着剤が硬化するまで1~2日養生させてから、次工程の処理を行ってください。
- 段鼻充填剤タキボンド#650の硬化には2~3日必要ですので、次工程の処理の際などに**段鼻を踏まないように注意してください。**(**段鼻に力がかかると#650が流動したまま硬化し、段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがあります。**)
- 接着剤・段鼻充填材が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため) また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- 接着剤・段鼻充填材が硬化するまで、重量物の運搬などは避けてください。



9. 継目処理

- タキステップと廊下・踊り場用シートの継目は、エンボスの谷間で5mm程度の隙間を空け、マスキングテープで養生後、タキシール#600(別売)にて処理してください。

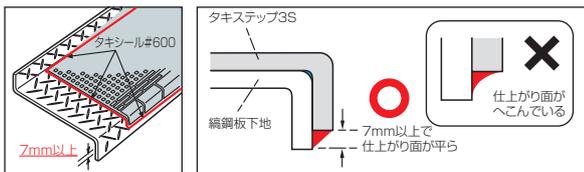
※タキシール#600が硬化するまで、最低2~3日養生してください。養生時間は気温によって左右されますので、十分ご注意ください。



10. 端部処理

- タキステップの全周にマスキングテープ養生し、タキシール#600の幅が7mm以上になるように仕上げ用ヘラなどで端部処理を行ってください。マスキングテープは仕上げ後直ちに取り除いてください。

※端部処理は、前垂れの浮きや段鼻の破損を抑制する効果がありますので、必ず実施してください。



※タキシール#600がササラ面や蹴込み面にかからないように、隙間を空けて、踏み面などで処理してください。

< 縞鋼板製階段テープ工法 >

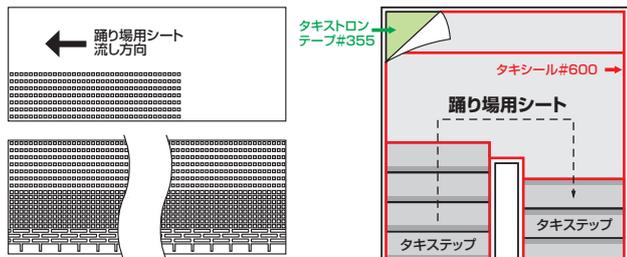
縞鋼板用

踊り場用シート (タキステップ3S用)

施工方法

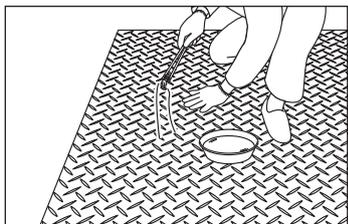
⚠ 下地や床材の種類によって使用する接着剤・副資材などが異なります。別紙「工法」の表を必ずご確認ください。
 使用前保管時・施工時・養生時 ① 5℃以下(気温・下地)にならないこと ② 急激な温度変化がないこと ③ 水濡れのないこと

- 踊り場用シートを貼り付け形状に合わせて裁断してください。
 ※ササラ面や蹴込み面などにタキシールがかからないように、端部に隙間を開けてください。
 ※踊り場用シートの流し方向に注意してください。
 ※踊り場用シートとタキステップは柄合わせはできません。ご了承ください。

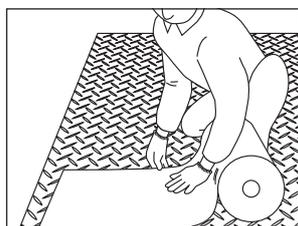


- 下地に鉛筆などでけがき線を入れてください。

- けがき線までタキボンド#625をハケで均一に塗布し、20~30分間乾燥させてください。



- タキストロンテープ#355(別売)をけがき線に沿って全面に貼り付けてください。
 - 踊り場用シートと同じ流し方向になるように貼り付けてください。
 - 貼り付け時に巻き込んだ空気は、あらかじめ千枚通しで抜いてください。
 - 一度貼り付けたタキストロンテープは剥離することができませんので、貼り付けの際の取り扱いには十分ご注意ください。



11. 養生(2~3日)

- シール材が硬化するまで、2~3日養生させてください。
- シール材が硬化するまで、5℃以下(気温・下地)にならないようにしてください。(5℃以下では硬化しないため) また、急激な温度変化や水濡れがないようにしてください。
- シール材が硬化するまで、触ったり踏んだりしないようにしてください。(継目にシール材を使用する場合は特にご注意ください。)
- 養生中は土足での歩行を控え、汚さないようにしてください。(必要に応じて養生シートなどをご使用ください。)
- 屋内で使用する場合は換気を行い、引き渡しまでに数日期間を設ける等の配慮をしてください。

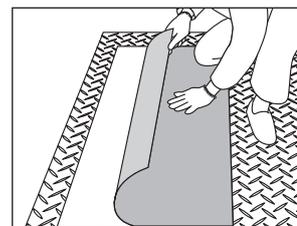
タキステップ3S 施工副資材 標準使用量一覧表

	タキボンド#625	タキボンド#650 (付属品)	タキシール#600
900 タイプ	12段/400g	3.3段/本	4.0段/本
1200 タイプ	9段/400g	2.5段/本	3.0段/本

- タキボンド#650はタキステップに付属されていますが、下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、別売品を追加購入してください。

- 両面テープ上に、型取りした踊り場用シートを仮敷きしてください。
 ●流し方向に注意してください。
- シート半分をずれないように折り返してください。

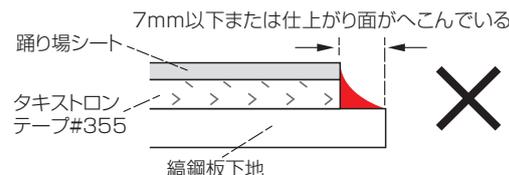
- 両面テープの剥離紙を剥がし、手前から空気を押出すように貼り付けてください。
 ●5℃以下(気温・下地)では施工できません。(両面テープの初期粘着力が低下するため)
 ●一度貼った製品は貼り直さなくてください。(粘着強度が低下します)



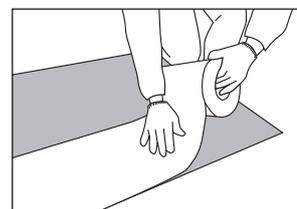
- 全体をハンドローラーで十分に圧着してください。

- 残り半分も同じ要領で貼り付けてください。

- 継目部及び端部は、タキステップと同様に、タキシールで処理してください。(タキシールの幅7mm以上)



- 貼り付け形状が複雑で、タキストロンテープが下地に貼り付けにくい場合は、型取りしたシート裏面に直接タキストロンテープを貼り付け、施工してください。



試験データ
P.196

法規関連
P.218

工法・下地
P.229

施工手順
P.247

接着剤・
副資材
P.314

副資材
品番一覧
P.328

メンテナンス
注意
P.333